

私は誰で、 誰を愛するのだろう

多くの人が、自分の性別に疑問を持たずに生活し、そして恋愛の対象として異性を愛することでしょう。しかし、そのことに違和感や嫌悪感を持ち、苦痛を感じながら生活している人がいます。今回はそういったセクシュアルマイノリティ（性的少数者）の中から、性同一性障害と同性愛について考えていきます。

性同一性障害（GID）について

性同一性障害とは、からだの性（生物学的な性）とこころの性（性の自己意識）が一致しないため違和感や嫌悪感がある状態を言います。そのため、からだの性で扱われることに精神的苦痛を受けています。

また、社会の中で偏見の目にさらされ、昇進を妨げられたりするなどの差別を受けてきました。

●原因は？

性同一性障害は先天的なものです。原因は完全には解明されていませんが、胎児期のホルモンの作用と見られています。

●戸籍上の性別変更は可能？

平成16年7月施行の「性同一性障害者の性別の取扱いの特例に関する法律」により、性同一性障害者であって一定の条件を満たすものについては、戸籍上の性別の変更が可能になりました。

●性同一性障害の人は、どれくらいいるの？

日本には2千人余りの人々が性同一性障害と診断されています。しかし、これは診断を受けた人数であり、実際にはこの数字をはるかに上回ると考えられています。

同性愛について

性的指向（人の恋愛・性愛の向かう対象）は、大きく3つに分かれます。

- 異性愛 ↓ 恋愛・性愛の対象が異性
- 同性愛 ↓ 恋愛・性愛の対象が同性
- 両性愛 ↓ 恋愛・性愛の対象が男女両方

●性的指向を理由とする差別的取扱いについて

同性愛者、両性愛者の人々は、少数派であるがために正常と思われず、場合によっては職場を追われることさえあります。いまだ偏見や差別が起きているのが現状です。

●同性間結婚について

現在の日本では、性別が同じ者同士の結婚は認められていません。しかし世界には、認めている国や地域もいくつかあり、認めるかどうか盛んに議論されている国もあります。

「性同一性障害」と「同性愛」の違い

この2つは混同されることがありますが、これらは概念が異なり別個に捉える必要があります。

●自身の性別への違和感

- 性同一性障害 ↓ 違和感を持っている
- 同性愛 ↓ 違和感を持っていない

●恋愛の対象

- 性同一性障害 ↓ 性的指向とは関係ない（同性とは限らない）
- 同性愛 ↓ 性的指向が同性

